

3月2日久しぶりの大雨で温かさも吹き飛び寒さが戻ってきました。午後から晴れ間が見えたものの、帰りがけに外を見ると小雨の中、



東の空にとてもきれいな虹がかかっています。思わず車を止めて写真を撮ったのですが、心を晴れやかな気分させてくれました。その夜は冷え込みも厳しく、翌朝の出勤途中では西脇方面の山を見るとうすらと雪化粧。(出勤時は車を止めて写真を撮る余裕がなく写真はありません。)3月に入り、気温の差も大きく、体調管理の難しさを改めて感じている次第です。28日で緊急事態宣言が解除され、新型コロナ対策関係も少しずつ動き始めています。体調管理にはくれぐれも気を付けて免疫力を高めるための規則正しい生活や食事等生活のリズムを整えるだけでなく、衣服の調節にも気を遣い、感染防止対策を含め健康管理をしてください。よろしくお願いします。



3月3日は福田小学校での今年最後の小高連携食育の授業に生活科学科2年生12名が行きました。各学年2名ずつが担当し、それぞれの学年の子どもたちが興味をもって食事の大切さを理解できるよう伝える内容も工夫して授業を展開していました。1年生ではパン、おかず、汁物、牛乳の

トレイ内の配置の仕方を学習。2年生では食材の分類。3年生では1年間の食育授業の振り返りからのまとめ。4年生では、地元食材の復習。5年生では食物中の栄養素の説明とその摂り方の学習。6年生では5大栄養素と心や体調との関わりについての学習。授業を長い時間見ることはできなかったのですが、平川校長先生に案内していただきながら各教室を回らせていただきました。低学年の子どもたちはとても元気よく本校生の質問に手を挙げて応えてくれており、上級生になるに従ってお互いに意見を出し合うような雰囲気になっていることにとても感心しました。加東市では来年度より東条地域で小学校と中学校が一緒になり東条学園小中学校となるのを皮切りに数年間隔で社地域、滝野地域も小中学校が同じ敷地内に移転します。この福田小学校地域の子どもたちはスクールバスでの登校となるようで、時代の移り変わりを校長先生もしみじみと話されているのが印象的でした。今年は新型コロナの関係で毎月というわけにはいきませんでした。5回ほどの授業で、本校生も人に伝えることの難しさ、関心を持ってもらうための準備など多くのことを学ぶことができました。福田小学校の児童の皆さん、校長先生をはじめとする先生方、本当にありがとうございました。

また3月3日で高校入試に関する志願変更も終わり、受検者が確定しました。普通科149名、生活科学科16名が受検してきます。残念ながら生活科学科は20名の定員を割ってしまいました。本校の生活科学科の良さをもっと広報しなければならないと反省をしています。普通科は、複数志願選抜になっていますので、他校の動向も影響してきますが、定員を超えていますので、受検生の皆さんはあと少し体調管理にも気を付けながら自分の力を発揮して合格を目指してほしいと思っています。受検生の皆さん頑張ってください。

そして3月2日に予定されていた球技大会は雨天のため5日に延期。何としてもこの行事はやりたと思っています。今年は、新型コロナの関係で行事の多くが中止となりました。昨年のコーラス大会、球技大会の中止から始まり、今の1、2年生は学校行事の経験が非常に少なくなっていることを危惧しています。校歌を歌う場面もなく、例年と違う学校教育活動の運営で、生徒たちも戸惑うことが多くなってくるのが予想されますので、一つひとつの行事を安全安心に行い、経験を積み上げていくことで通常通りの学校教育活動に戻していかなければなりません。ご家庭、地域の皆さんのご協力が必要です。どうぞよろしくお願いいたします。